



地域支援コラム

D 小学校にて児童の「たいいく」の学習指導を行いました。一学期にプール指導を受けていた児童ということもあり、前回の話題を含めて挨拶をすると恥ずかしそうにしながらも笑顔返してくれました。今回はお金の学習後、担当の先生と話し合いをしました。学習中は、机上学習ではなくホワイトボードを使用し、立位で取り組んでいました。内容はお金の計算(①「5円足す5円はいくら? 50円足す50円はいくら? 等」②「合わせていくら?(千円まで)」等)を商品の写真カードとイラストのお金のカードを使用して行っていました。学習時間は45分間でしたが、特に姿勢の崩れや動作(ホワイトボード上でのカード操作や書字)からくる疲れはみられず、児童が好きなキャラクターを用いた学習に集中して取り組むことができていました。学習後には、担当の先生に活用できそうな学習プリントを渡し、今後の学習の進め方について伝えました。アドバイスとしては、①実物のお金を使う経験をする②実際の買い物場面を見立てた買い物体験をする③両替等のお金を置くワークシートの活用を提案し、残り少ない小学校生活の中でもお金や時計の学習の大切さを伝えました。

また、来年度から中学校への進学ということで、中学校生活へ向けて身につけたい力の引き継ぎの大切さを伝え、新しい人間関係の構築に向けても話をすることができました。児童にとってはこれから新しい生活のスタートとなりますが、別れ際の児童のあふれる笑顔から、力強く進んでいけると確信することができました。